

# NMSH Topics 17 VOL.

May 2018

今月の

院長のイチオシ

【放射線治療科】

最先端の高精度放射線治療を実施

軽度の副作用で十分な効果を期待

地域医療機関からの紹介にも対応

## がん患者さんのためにめざすのは 体に優しく効果の高い放射線治療

主たるがん治療の一つである放射線治療は、体への負担に配慮した高いQOLを実現するための治療です。病状によっては通院治療が可能ですが、治療効果をより高くするために化学療法や手術を併用する際には、負担を考慮し入院治療となることもあります。しかし、2014年に導入した体外からの放射線治療装置である新型のリニアック（直線加速器）と腫瘍内部から直接照射する高線量率密封小線源治療装置により、粒子線治療以外のすべての高精度放射線治療（強度放射線治療：IMRT、定位放射線照射：STI、画像誘導放射線治療：IGRT、画像誘導小線源治療：IGBTなど）が可能となり、より治療効果を高めつつ副作用を軽減する苦痛の少な

い放射線治療を追求することで、できるだけ通院での放射線治療ができるようにしています。

一方、当院は年間約800人に放射線治療を行う施設であり、放射線治療に関する専門の学会である日本放射線腫瘍学会（JASTRO）の認定施設でもあります。スタッフも放射線治療医5人（うち放射線治療専門医3人）、医学物理士1人、放射線治療品質管理士2人、放射線治療専門放射線技師2人、放射線治療に従事する診療放射線技師8人、看護師8人をそろえ、各専門家が連携を取りながら複雑な高精度放射線治療を安全に配慮して行っております。また、ご紹介いただいた先生方と連携することで、他の治療を併用するより強めの効果を期待した治療でも、できるだけ負担が少なくなるように心がけております。放射線治療が必要な患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただければと思います。



患者さん一人ひとりに合わせ、効果の高い治療法を追求



放射線治療に関する専門医師やスタッフが集結して治療にあたる